

# 平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

## 第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

1 コート 第4試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

チームA		11 - 25 34 - 16 19 - 22 12 - 20		チームB
<b>湯沢北</b>	<b>76</b>		<b>83</b>	<b>千葉国際</b>
秋田				千葉

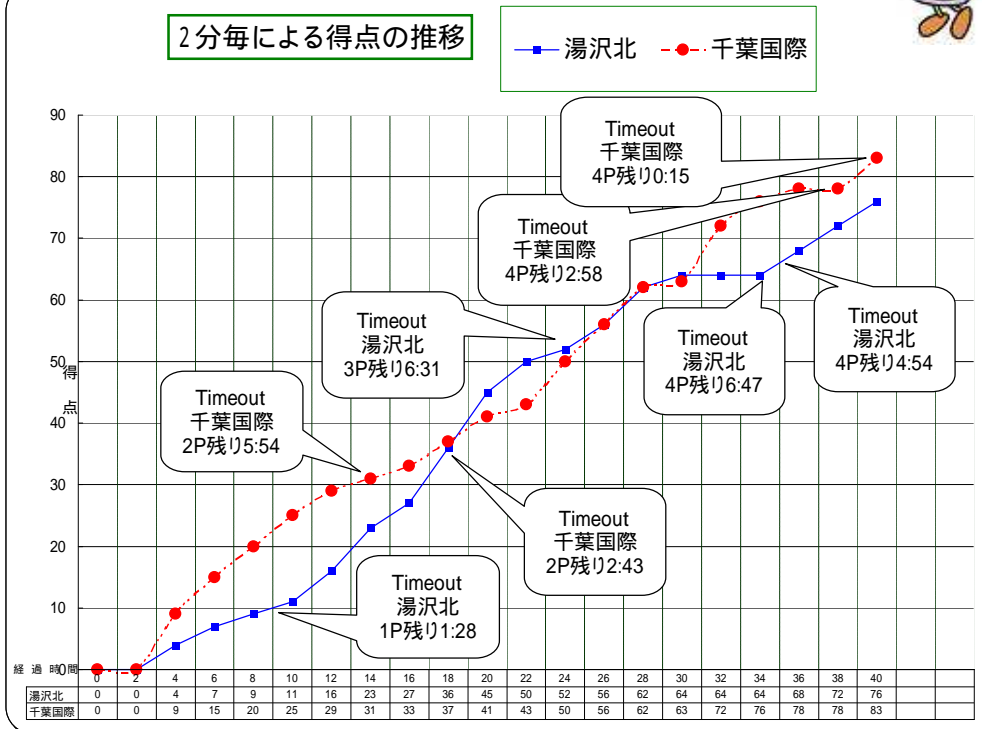
### 湯沢北

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分	
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF						
4	笹木香澄	X																DNP
5	吉見藍	X	10	0	4	3	7	4	4	4	7	2	6	0	1	0		26
6	三浦優花	X	9	0	6	2	8	5	6	3	1	5	1	0	0	0		15
7	伊藤志江	X	4	0	1	2	5	0	0	5	2	5	1	3	3	0		35
8	鈴木友佳子	/	15	3	10	3	12	0	1	2	6	6	2	8	4	0		38
9	小松恵	X	14	0	0	6	19	2	5	2	6	3	4	5	2	2		37
10	酒井美里	X	2	0	0	1	5	0	0	3	4	3	1	1	1	0		19
11	佐藤かほり	/	22	4	6	4	7	2	3	2	2	0	1	7	1	0		29
12	高橋菜美香																	DNP
13	高橋美紗貴	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1
14	佐藤夏峰																	DNP
15	伊藤美和子																	DNP
コーチ	樋渡真									0	2	1	1					
出場: ×は先発、/は出場			76	7	27	21	63	13	19	21	30	25	16	24	12	2		200
			確率	25.9%		33.3%		68.4%			計	55						

### 千葉国際

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分	
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF						
4	大江美香	X	15	0	1	6	7	3	4	4	1	3	4	2	1	2		31
5	刀根真波																	DNP
6	尾崎万理音	X	5	0	0	2	8	1	2	4	5	2	3	0	1	1		20
7	松井憂	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		1
8	中村玲那	X	12	0	1	5	11	2	5	3	4	1	4	6	5	0		39
9	小菅由香	X	20	0	0	9	12	2	5	1	2	11	4	0	3	4		40
10	上村智恵美	/	0	0	2	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0		12
11	藤原朱唯																	DNP
12	森千夏	/	5	1	1	1	1	0	0	2	0	0	5	0	1	0		16
13	松岡実希	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		1
14	萱野千尋																	DNP
15	小林真由美	X	26	6	10	2	4	4	6	3	1	6	3	1	2	0		40
コーチ	鈴木義高									0	1	8	1					
出場: ×は先発、/は出場			83	7	15	25	43	12	22	18	15	32	27	9	13	7		200
			確率	46.7%		58.1%		54.5%			計	47						

### 2分毎による得点の推移



### 戦評

堅い守りと粘り強さで臨む湯沢北と全国大会初出場の千葉国際の対戦は最終Pでゾーンをうまく攻めた千葉国際が全国大会初勝利を決めた。第1P、両者マンツーマンでスタート、長身選手率いる千葉国際は#9小菅、#6尾崎が高さを生かした合わせのプレイで得点。対する湯沢北は#8鈴木が3P、ドライブと得点を取りにいくが千葉国際の高い守りにシュートまで結びつかず、千葉国際の14点リードで第1P終了。第2P、湯沢北はオールコート2-2-1からハーフコート1-1-3と変化をつけたディフェンスで揺さぶりをかける。このディフェンスにリズムを崩された千葉国際はターンオーバーを重ね、湯沢北一気に同点。これに対し千葉国際2-1-2のゾーンプレスを仕掛けるが反対に湯沢北#9小松にパスをつながれ得点を奪われ、逆転され前半終了。第3P両者マンツーマンに戻しスタート。一進一退の攻防の中互いに譲らず湯沢北1点リードで最終Pへ。第4P湯沢北はディフェンスをゾーンに変え勝負にできるが、千葉国際#15小林の3本連続3Pと#4大江の連続得点で一気に14点リードされる。残り6分湯沢北はタイムアウト後流れを戻し、千葉国際の得点が止まるなか、残り2分4点差まで詰め寄り。しかし残り1分、千葉国際の#15小林の3Pが決まり、更に点差を広げられ、そのまま試合終了となった。

主審	鴨志田 和歌子	副審	富島 健司	戦評	高橋 綾乃 (埼玉県高体連)
----	---------	----	-------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロックショット